

2011年度

科目名	東洋史学A				
担当教員	小田木 治太郎				
配当	文 1・教育1・人間1		コード	42006	
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数	2
授業テーマ	中国中世史概説				
目的と概要	中国史を時代を追ってトレースしていくことを目的とします。ただし15回の授業で中国史すべてをカバーするのは不可能ですので、本授業では、中央集権国家が完成した前漢から貴族社会が成熟する唐までを対象とします。中国史において中世と呼ばれている時期とほぼ同じです。この期間は、日本では弥生～奈良・平安時代に当たり、中国と関係しながら国家形成が進む時代です。よって、日本の歴史を理解する観点からも同時期の中国史を知ることは重要です。授業では政治史や経済史だけでなく、文化史的な側面も重視して、多面的に時代像をつかみ取ることを目指します。折に触れ、関連画像を見る時間を設けます。				
成績評価法	学期末試験80%、平常点20%				
テキスト	特になし。適宜、プリントを配布する。				
参考書	特になし				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	しっかりとノートをとること。板書を写すだけでなく、授業全体の内容が理解できるようなノートにするようにして下さい。授業には、前回までの内容をよく理解しなおした上で臨んで下さい。				
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国史の概観 2. 前漢 前漢帝国の発展と変質 3. 新 王莽による改革の理想と失敗 4. 後漢 豪族頼みの再建とその危うさ 5. 三国 三国志の世界、長い分裂時代の始まり 6. 古代中国と周辺地域、東アジア世界の形成 7. 晋 統一帝国の早期崩壊 8. 晋-南北朝 五胡十六国の興亡と北魏による統一 9. 南北朝 北朝—質実な武人政治とその躍進 10. 南北朝 南朝—華やかな貴族政治 11. 隋 統一帝国の栄光と挫折 12. 唐 貞観の治—則天武后の革命 13. 唐 大唐帝国の隆盛と衰退 14. 唐 隋唐帝国と周辺地域 15. まとめ 					